

読めばわかる！実践できる！！
働き方改革 歯科医院での実践事例から学べます



はいしゃさんの働き方改革

小原啓子・松坂文則・河野佳苗・池内麻衣 編

A4判/128頁 定価4,536円：本体4,200円＋税
医歯薬出版（2018年3月）

（公社）日本歯科衛生士会

評・武井典子（日本歯科衛生士会会長）



日本の歯科衛生士の就業者数は、123,831人（平成28年）であり、50年間で44倍に急増しました。現在、日本はアメリカに次いで世界で2番目に就業者数が多い「歯科衛生士大国」です。このような背景には、近年の医療保険や介護保険において歯科衛生士が行う業務への評価・点数化があると指摘されています。

歯科衛生士のおもな就業場所は、歯科診療所が90.6%と圧倒的に多く、その歯科衛生士にもまさにいま、変革が求められています。地域包括ケアシステムの構築が急がれるなか、歯科衛生士も多職種と連携しながら地域に出て、その専門性を発揮することが求められています。在宅療養者や要介護高齢者の口から食べる機能を維持して低栄養や誤嚥性肺炎を予防するな

ど、口腔衛生・口腔機能管理を担う歯科衛生士の役割に期待が高まっています。このような社会ニーズの変化に対応していくためには、学校教育から継続した生涯研修が必要であり、日本歯科衛生士会におきましてもeラーニングを取り入れた生涯研修制度の拡充に注力しているところです。

また、近年の歯科衛生士不足への対応として「歯科衛生士の人材確保・復職支援等に関する検討会」を開催、報告書およびガイドラインを作成・発行しました。この歯科衛生士復職支援や新人歯科衛生士技術支援に対するガイドラインの作成、さらには歯科衛生士の育成プロセスにつきましては、本書の著者の皆さまにも委員として参加いただきました。現在、「歯科衛生士は一生の仕事、地域で歯科衛生士のデビューから復帰まで応援します」を合言葉に歯科衛生士の指導者の育成を行っています。

このような状況のなか、『はいしゃさんの働き方改革』が出版されたこと、誠に意義深いことと存じます。歯科医院において、「医療分野の雇用の質向上のための勤務環境改善マネジメントシステム」を導入することにより、「雇用の質を上げると医療の質が上がり、その結果患者さんの満足度が向上し、歯科医院の経営は安定する」という好循環サイクルがわかりやすく記載されています。これからの歯科医療は、患者さんを中心に歯科衛生士も経営的センスをもち、組織づくりを基盤とした働き方改革が重要です。本書を歯科医院で働くすべての歯科衛生士に参考にしていただき、すばらしい職場づくりをとおして歯科衛生士として生きる喜びを創造し実感していただきたいと願っています。